

～ 私達は介護のプロを応援します ～

令和7年度
介護労働講習
(実務者研修を含む)

公益財団法人 介護労働安定センター 滋賀支部

※掲載している写真、氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。



◆ 修了生へ贈る言葉 ◆



6月17日に開講してから11月25日までの長期間、仲間と支えあいながら努力を惜しまず、最後まで頑張られたことに改めて敬意を表しますとともに、修了を迎えられたことに心からお祝い申し上げます。

今後、人口減少と少子高齢化がより一層進むことによる「介護人材の不足」は、この国の将来にとって大きな課題の一つであります。事業所では、皆さんのように「人の役に立つことを誇りに思う」「最後まで諦めずにやりきることができる」そんな人材を求められているに違いありません。

この講習期間中に、皆さん自身の頑張りによって手にされた財産は計り知れません。

- ・「実務者研修修了」資格
- ・資格に裏付けされた「知識」と「技術力」
- ・ここで得られた「経験」そして「自信」
- ・お世話になった「これからも頼りにできる講師の方々」
- ・これまで一緒に頑張ってきた「大切な仲間」等

皆さんが手にした財産に自信をもって次の一步を踏み出してください。そして、ご利用者の方に寄り添い、ご利用者の方や周りからも信頼される職員となり、介護業界の未来を支える「介護のプロ」を目指してほしいと思います。

私たちは、今後の皆さんのご活躍を心より応援しております。

(公財)介護労働安定センター滋賀支部 職員一同

講

習

風

景



開講式



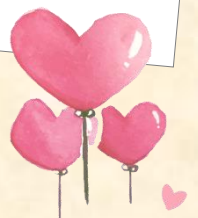
ベッドメイキング



車椅子介助

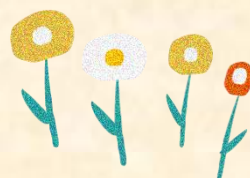


救急蘇生法





医療的ケア



グループワーク



オンライン学習



修了式





【 講習を終えて 】

今年度は、30名の受講者が、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護のいろはをまったく知らなかった
ので、すごく勉強になりました。

この学びを活かして
介護業界で少しでも長く
働きたいと思いました。

介護職が大変奥深い
と日々痛感しました。

また、利用者への心
掛け、観察力、技術の大
切さも痛感しました。

同じ目標を持った人
達と一緒に過ごせた時
間は、とても大切な時
間となりました。

この講習を受講した
ことや、素敵な仲間
に出会えたことに感謝
しています。

たくさんの講師の方
が、多様な視点と専門
性に基つき、熱意を持
って教えてくださいま
した。

教わったことを現場
で発揮できるように頑
張りたいです！



◆ 就職先をたずねて ◆

★ 就職者の声 ★

花田 雅人 さん（令和6年度 介護労働講習 修了生）
一般社団法人 愛生会 介護老人保健施設おおよけの里



Q1. 介護労働講習で学んだことを教えてください。

各種社会福祉施設でご活躍されている講師の方々から介護職の社会的な意義や役割、必要な知識や技術を経験談やグループワークを交えて大変興味深く学ばせていただきました。全てが新鮮で今後の自らの人生にも役立つことばかりでした。

- ・自分本位や効率的な介護だけではご利用者の「能力」「意欲」の低下や生き甲斐の喪失を招くこと
- ・「人生・生活の質（20L）」を高めるには、多職種が連携し「国際生活機能分類（ICF）」の各要素から「その人らしさ」を尊重した多面的なアプローチが必要であること
- ・常に「畏敬の念」を持ち「してあげる」ではなく「させていただく」謙虚な姿勢が大切であること
上記内容が特に印象に残りました。

Q2. 実際に介護の仕事に就かれた感想は、いかがですか？

現在デイケア部門に所属し、送迎から入浴・食事・排泄の介助、レクや運動等を担当しています。異業種からの転職で実務経験が無く不安と緊張だらけのスタートでしたが、先輩方のきめ細かなご指導とご利用者の感謝の言葉に励まされながら奮闘しています。

介護は人との距離が近く、マニュアル通りに行っても信頼関係がないと相手に不安、不快感を与えてしまいます。ご利用者のパーソナルエリアに立ち入る上で「ご本人の気持ちになって丁寧に対応すること」「情報収集を怠らず積極的にお声掛けすること」「言葉や行動に自らの思いを乗せること」を常に心掛けています。

介護の本質は「人間愛」であり「一期一会」に感謝しつつ、日々心豊かに過ごしています。

Q3. これから介護労働講習を受講される方へ向けて、メッセージをお願いします。

介護職は様々な理由から敬遠されがちなのですが、高齢化やAI化が急速に進展する中、人間同士のネットワークや信頼関係の構築は人間にしかできない職務であり、今後その必要性・重要度は益々高まると思います。また、様々な人生経験を積まれた方とのご縁が得られ、「その人らしさ」をサポートする上で、多くの学びや気づきがあり、自らの人間性を高められるとともに、ご利用者の笑顔や感謝の言葉から喜びや遣り甲斐を日々実感出来る素晴らしい職務です。

更に努力研鑽され、今後介護の世界でご活躍されますことを心より願っています。



★ 事業主さまの声 ★

一般社団法人 愛生会 介護老人保健施設おおやけの里 山岡 良美 様



Q1. 採用された決め手などを教えてください。

花田さんは、初めて施設に見学にお越しいただいた時から、穏やかな雰囲気の中にも介護の仕事に対する積極的な姿勢や強い信念を感じました。

採用で大切にしているのは、専門的な「知識」ではありません。

介護の仕事には豊かな人間力が求められ、採用においても「人」を大切にしています。利用者様への支援は、一人ひとりに寄り添う柔軟な対応力が求められます。そのため、状況判断力やチームで協力する姿勢、そして利用者様や家族様との信頼関係を築くコミュニケーション力も大切です。さらに、施設理念に共感し、長期的に成長したいという意欲も大切にしています。

花田さんは採用面接においても、介護労働講習で学んだ知識や技術を自身の中で深く理解しておられ、自身が習得したものを最大限に利用者様支援に活かしたいという強い思いが伝わってきました。

さらに、入職後のキャリアへの明確な考えも感じ、採用へと至りました。

Q2. 普段の仕事ぶりは、いかがですか？

花田さんの温かい人柄や豊かな人間力は利用者様だけでなく職員にも安心感をもたらしています。おおやけの里には若い職員も多く在籍していますが、職員の様々な相談役としても大きな存在です。花田さんの所属しているデイケアの部署には20代から様々な年代の職員が在籍していますが、年齢を超えたコミュニケーションが活発に行われながら業務が行われています。花田さんの優れたコミュニケーション能力やこれまでの仕事、人生経験から培われた力がチーム力をさらに向上させていると感じています。

先日の面談では、利用者様支援において、今後習得したい知識や技術、研修への参加について話しました。仕事に対する向上心も周りへ大きな影響を与えています。

Q3. これから介護労働講習を受講される方へ向けて、メッセージをお願いします。

介護のことは初めてで不安、心配…という方も多いかもしれません。

私も介護とはまったく違う仕事からの転職でした。そこで、支えとなったのは共に学ぶ仲間です。一人では不安な事も、仲間と共に学び合うことで、乗り越え、資格取得を目指せました。

介護労働講習では、多くの受講者と共に学ぶことができます。共に学ぶことが、知識や技術のより深い理解へとつながっており、介護のことがまったく初めて…という方でも講習では基本から丁寧に学ぶことができ、初めて学ぶ仲間も多くいることで安心して資格取得を目指せます。

介護の仕事は、知識や技術はもちろん重要ですが、人とのつながりの中で育まれる思いやりや感性も重要とする専門職です。

介護労働講習は知識や技術を習得する場であると同時に、人と出会い、刺激を受け、自分自身を見つめなおす機会でもあり、その出会いがさらなる成長につながる場であると考えています。

介護職は利用者様の人生に寄り添う大切な役割です。講習で習得された知識や技術、そして培われた豊かな人間力を最大に活かせる仕事です。

おおやけの里でも様々な仕事経験、人生経験を活かして働いている職員が多くいます。利用者様、職員、地域の方々、様々な方との出会いが自信をさらに成長させてくれます。

皆様の介護職員としての活躍を応援します。一緒に介護の業界で仕事を通じながら成長しましょう！